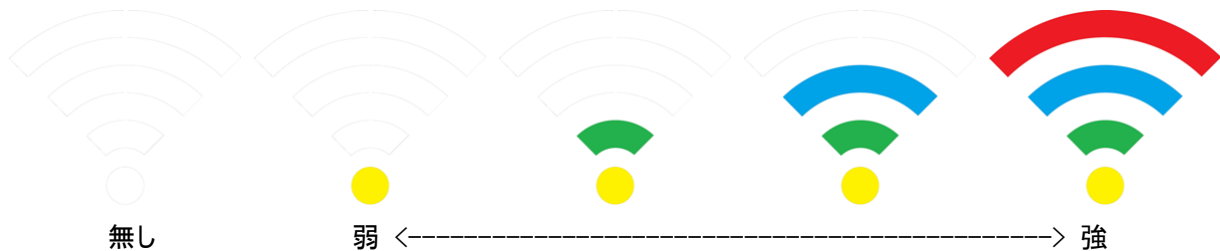


タグ探索アプリケーション

1. 概要

このタグ探索アプリケーション TagSearch(以下、本ソフト)は、特定の RF タグを探索するもので、当社製品である UHF 帯リーダ・ライタ(以下、リーダ・ライタ)を動作させるための専用ソフトウェアです。

本ソフトは、RF タグの RSSI 値を取得し、その値に応じて下図のように RSSI 強度図を変化させることで、視認し易くなっています。



1.1. ソフトウェアの概要

■動作環境

- OS : Windows7、8、8.1、10(各 32bit/64bit)
- 必要なファイル : TagSearch .exe、spapi.dll

1.2. 対応機器

本ソフトは、アートファイネックス社製 UHF 帯 RFID リーダ・ライタに対応します。
(一部 RSSI に対応していない機器ではご使用いただけません。)

2. 探索アプリケーションの準備

本ソフトにはインストーラはありません。

TagSearch.exe と spapi.dll をご自分の PC の同じフォルダ内にコピーしてご使用ください。

なお、本ソフトが不要になりましたら、上の2つのファイルを削除してください。

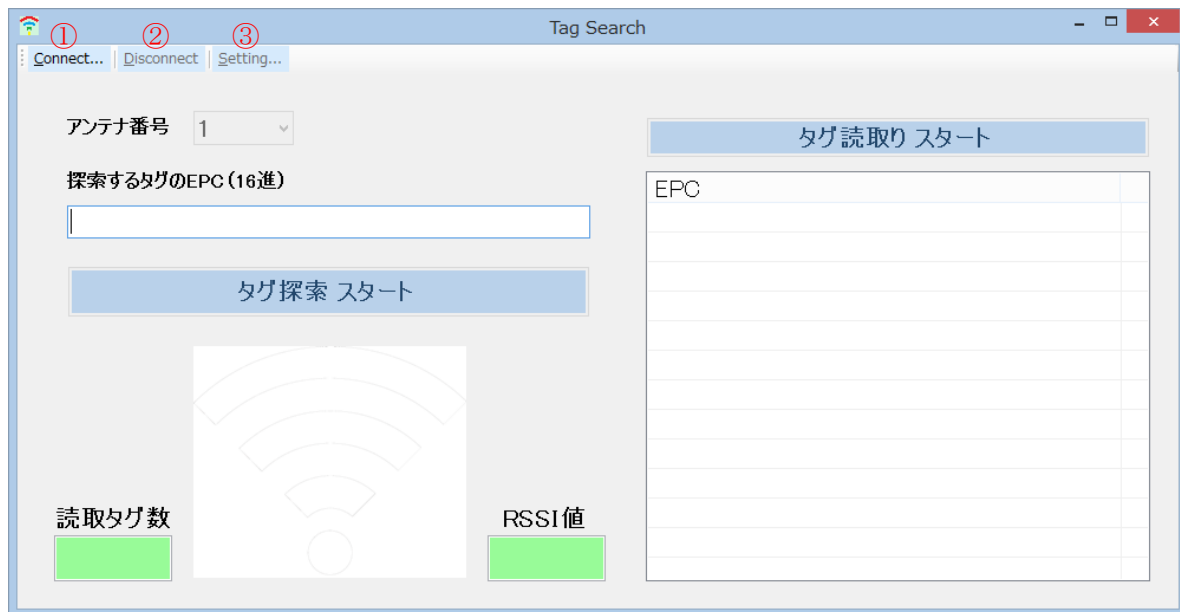
3. 探索アプリケーションの使用方法

3.1. 起動と終了

TagSearch.exe を実行し、本ソフトを起動します。

本ソフトを起動すると以下の画面が表示されます。

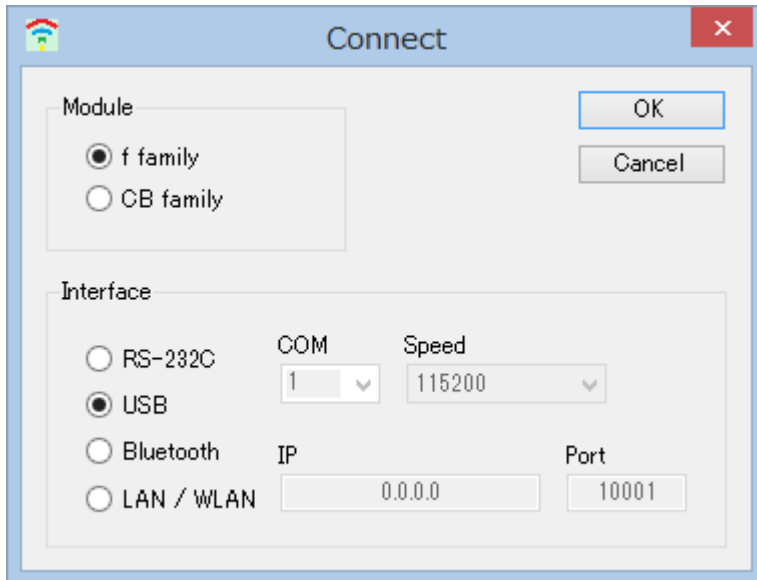
一方、終了するときは、画面右上の[×]をクリックします。



- ① リーダ・ライタと接続します。
- ② リーダ・ライタを切断します。
- ③ RSSI 強度図の設定をします。

3.2. リーダ・ライタとの接続と切断

①の [Connect...] をクリックすると下の画面が表示されます。

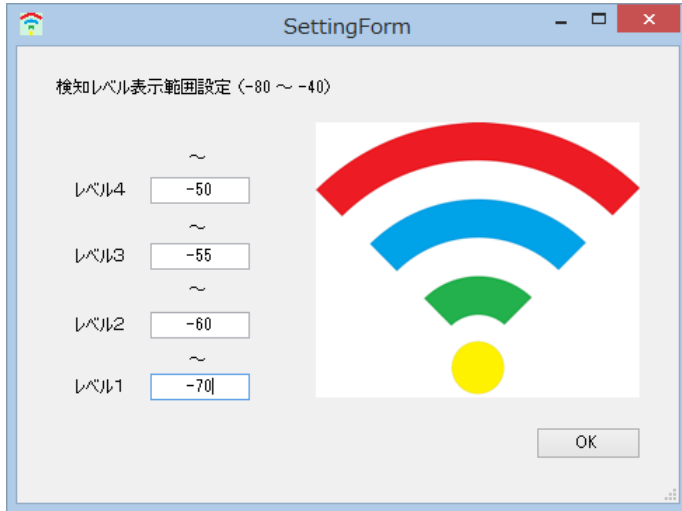


使用するリーダー・ライターと接続方法を選択・設定して[OK]をクリックします。(リーダー・ライターと接続できたらこの画面が消えます。)

一方、②の [Disconnect] をクリックするとリーダー・ライターと切断されます。

3.3. RSSI 強度図の設定

③の [Setting...] をクリックすると下の画面が表示されます。



RSSI 強度図の表示レベルを設定して[OK]をクリックします。(設定をしてこの画面が消えます。)

レベル1未満のときは 何も表示されません。

レベル1から2のときは、黄色 が表示されます。

レベル2から3のときは、黄色と緑色 が表示されます。

レベル3から4のときは、黄色と緑色と青色 が表示されます。

レベル4以上のときは、黄色と緑色と青色と赤色 が表示されます。

3.4. RF タグを探索する



CB ファミリの場合は、④でアンテナ番号を選択します。(アンテナは1と2を選択できます。)

⑤に探索する RF タグの EPC を 16 進数で入力してから⑥の [タグ探索スタート] をクリックします。

([タグ探索スタート] が [タグ探索ストップ] に変わり、RF タグの EPC と RSSI を読み続けます。)

何らかの RF タグを読むと、読取った RF タグ数を⑦の読取タグ数に表示します。

探索する RF タグが見つかったら、そのときの RSSI 値を⑨に表示し、その RSSI 強度図を⑧に表示します。

一方、⑥の [タグ探索ストップ] をクリックすると停止します。

3.5. 探索する RF タグを設定する別の方法

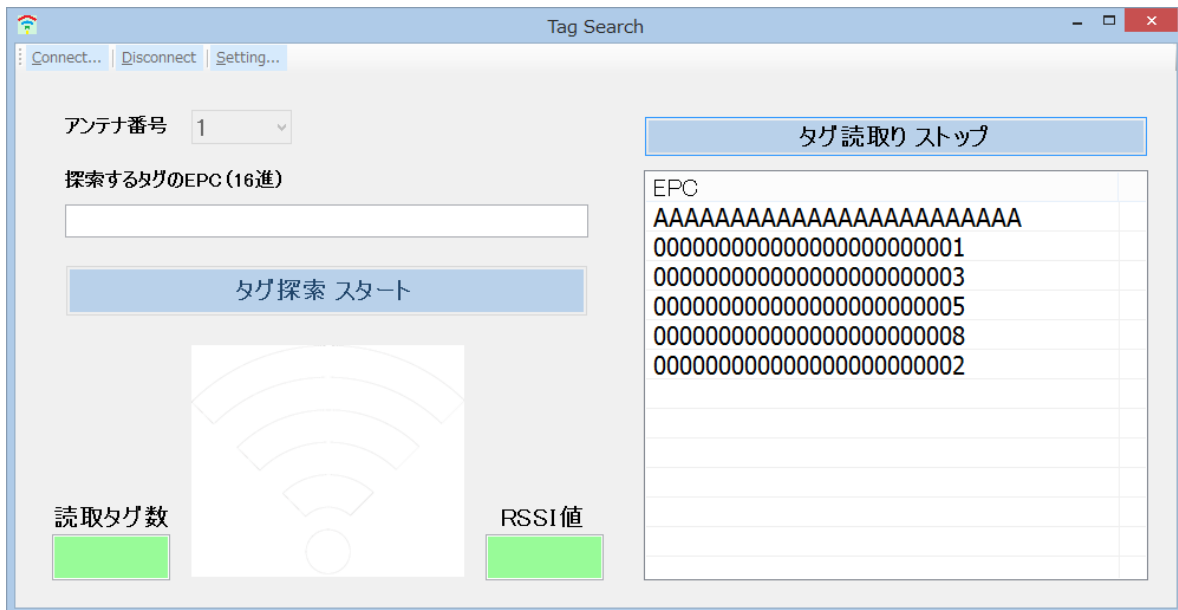
探索する RF タグを入力する以外に、以下の方法で設定することもできます。



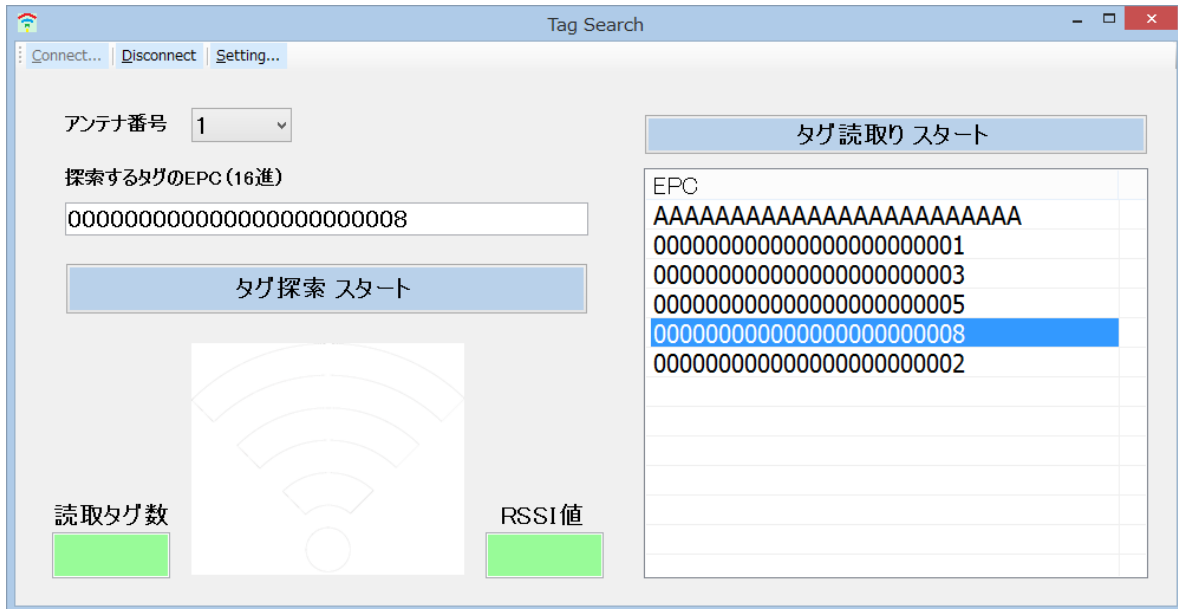
CB ファミリの場合は、④でアンテナ番号を選択します。(アンテナは1と2を選択できます。)

⑩の [タグ読取りスタート] をクリックすると付近にある RF タグの EPC を読み続けて、下図のように⑪のリストに追加表示します。(既にリストに表示されている場合は追加されません。)

⑩の [タグ読取りストップ] をクリックすると停止します。



探索したい RF タグが①のリスト中にある場合は、その RF タグ ID (EPC) をクリックすると、それが探索するタグの EPC 欄にコピーされます。



3.6. RF タグのを見つけ方の例

アンテナ1の送信出力を強く、アンテナ2の送信出力を弱く設定しておき、始めにアンテナ1でおおよその位置を探します。その後アンテナ2で特定の RF タグを見つけます。

以上